

小笠原諸島における外来ネズミ類対策について

1. 背景

小笠原諸島のネズミ類は、その食害により希少な固有動植物が衰退するなど、小笠原の生態系に大きな影響を及ぼしている外来種である。中でも、世界自然遺産の価値として認められている固有の陸産貝類等への影響が、遺産登録の過程から問題視されていたことから、関東地方環境事務所では平成 17 年度から主に無人島における外来ネズミ類対策に取り組んでいる。

平成 21 年度には外来ネズミ類が生態系に大きな影響を及ぼしている父島列島の属島（無人島）及び鴛島周辺において、殺鼠剤の空中散布を実施し、ネズミ駆除後には動植物の効果的な回復が確認された。しかし、兄島では散布から 2 年 8 ヶ月後にネズミが再確認されたのち、再び在来種の食害等の生態系被害が顕著となり、特に陸産貝類に関しては種の存続を脅かす状況となってきた。

このような状況のなかで、平成 26 年度に計画していた固有陸産貝類の緊急保全対策としての殺鼠剤空中散布が地域の合意を得られずに中止となり、平成 27 年 3 月から専門家による検証委員会を設置し、過去の事業の環境影響及び平成 26 年度の事業の中止に至る経緯について、検証を行っている。

一方、兄島の陸産貝類の生息状況が悪化している中で、平成 27 年 2 月に陸産貝類の重要保全エリア（7 地域）を設定し、重要保全エリア内のネズミの低密度化と陸産貝類の各種個体群の絶滅回避を目的としたネズミ対策の計画検討や、実施後の対策の評価及び戦略の改善を担う「兄島陸産貝類保全プロジェクト会議」を立ち上げ、カゴわなでの捕獲や殺鼠剤の使用によるネズミ食害を軽減する取組を進めている。

また、有人島でも無人島への再侵入防止や生活環境への被害を含めたネズミ対策が課題となっていることから、有人島におけるネズミ対策にかかる行政連絡会を立ち上げ、議論を進めている。

2. 兄島陸産貝類保全プロジェクト会議の概要

(1) 検討委員（敬称略）

氏名・所属	専門分野
石井 信夫 東京女子大学現代教養学部 教授（座長）	ほ乳類
可知 直毅 首都大学東京理工学研究科 教授	植物
苅部 治紀 神奈川県生命の星・地球博物館 主任学芸員	昆虫
川上 和人 森林総合研究所 鳥獣生態研究室 主任研究員	鳥類
白石 寛明 国立環境研究所環境リスク研究センター フェロー	毒性学
千葉 聡 東北大学東北アジア研究センター 教授	陸産貝類
堀越 和夫 NPO 小笠原自然文化研究所 理事長	地域の有識者（兼鳥類）
亘 悠哉 森林総合研究所 鳥獣生態研究室 主任研究員	外来ほ乳類対策
助言者（アドバイザー）	
織 朱實 上智大学教授（小笠原諸島ネズミ対策検証委員会委員長）	リスクコミュニケーション
武藤 敦彦（一財）日本環境衛生センター 環境生物部長	ネズミ駆除
小松 謙之（株）シー・アイ・シー 研究開発部長	ネズミ駆除

(2) 検討スケジュール

- ・第1回会議（平成27年6月25日）
第2回検証委員会結果を踏まえた兄島陸産貝類保全対策実施計画の検討
- ・第2回会議（平成27年10月15日）
ベイトステーションを使用した対策の評価と戦略改善の提言
次年度の陸産貝類保全対策の検討
- ・第3回会議（平成28年1月頃を予定）
ベイトステーションを使用した対策の評価と戦略改善の提言
次年度の陸産貝類保全対策の方向性の決定、実施計画（素案）の策定

3 小笠原諸島ネズミ対策検証委員会の概要

(1) 検討委員

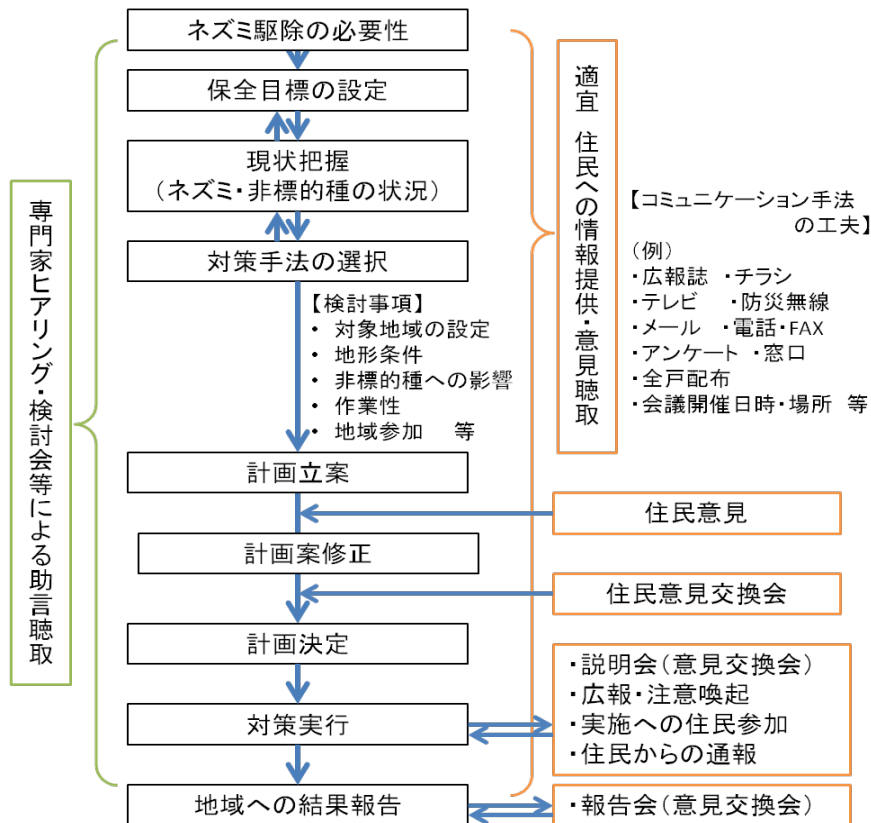
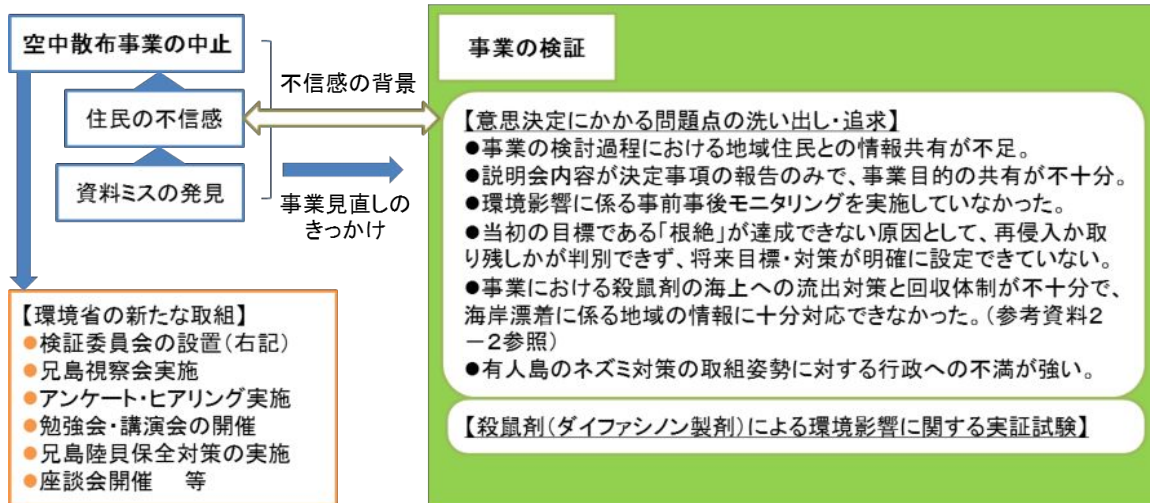
名 称	小笠原諸島ネズミ対策検証委員会
設置期間	平成27年2月～平成28年3月（予定）（計5回を予定）
事務局	関東地方環境事務所 / 一般財団法人日本環境衛生センター（運営補助）
委員 （敬称略・ 五十音順）	大河内 勇 一般社団法人日本森林技術協会 業務執行理事 織 朱實 上智大学 大学院 教授 白石 寛明 国立研究開発行政法人国立環境研究所 フェロー 渡邊 裕純 東京農工大学 農学研究院 教授
助言等 （敬称略）	小笠原諸島における外来ネズミ類対策検討会 検討委員 管理機関 関係行政機関（関東森林管理局、東京都、小笠原村） 地域連絡会議 参画団体（構成員） 一般財団法人自然環境研究センター（ネズミ対策関係業務 請負者） 会議は原則として公開する。

(2) 検討スケジュール

- ・第1回検証委員会（平成27年3月12日）
検証委員会の立ち上げ・経緯の共有・検証作業の進め方の検討
- ・第2回検証委員会（平成27年5月7日）
現地ヒアリングを踏まえた検証項目の確認
実証試験項目の検討、緊急対応としてのベイトステーション使用再開の提言
- ・第3回検証委員会（平成27年9月4日）
経緯の検証・実証試験進捗状況報告・検証結果とりまとめに向けた準備
- ・第4回検証委員会（平成27年12月17日予定）
実証試験経過の確認・検証結果案の検討
- ・第5回検証委員会（平成28年3月予定）
検証結果のとりまとめ

(3) 検証経過

過去に実施した殺鼠剤散布事業の経緯の検証



有人島のネズミ問題については、世界遺産管理機関だけでは、
対処できない農地、集落地の問題を含むことから、
産業や、公衆衛生担当部局等の関係行政機関を交えた行政連絡会を 11/30 に実施した。

- ・今回は、関係者間で
増減傾向や被害状況、今年度の対策実施内容の共通認識を持つことに主眼に置いたが、
次回以降、有人島のネズミ対策の対応方向性についても検討していく予定である。